

時間	内容
13:00~13:20	開会ご挨拶 吉田 眞 日本クラウドセキュリティアライアンス会長 東京大学名誉教授
13:20~14:00	C□A本部講演 Sean Heide, Technical Research Director, CSA  <p>“Introduction of the contents of "Security Implications of ChatGPT” In this lecture, Sean will go over the research paper that sparked AI initiatives across CSA. The Security Implications of ChatGPT provides a high-level overview of the use cases for ChatGPT in security, both good and bad. Sean will then discuss further the use cases he has recently seen using these models to enhance security posture.</p>
14:00~14:40	基調講演 石川冬樹 国立情報学研究所アーキテクチャ科学研究系准教授 先端ソフトウェア工学・国際研究センター副センター長  <p>「対話型生成AIにより大きく変わるエンジニアリングの世界」 ChatGPTをはじめとした対話型生成AIが大きな話題となっており、ソフトウェアシステムに取り組むエンジニアには特に大きな影響・変化がある、あるいはすでに起きているとされています。本講演では、対話型生成AIを活用したエンジニアリングや、対話型生成AIに対するエンジニアリングの動向を紹介し、今後の展望やエンジニアのあり方についての議論を提起します。</p>
14:40~15:00	休憩
15:00~15:40	WG講演1 山崎英人 クラウドプライバシー WG リーダー  <p>「生成系AIにおけるプライバシー」 GPT系のLLMは大量のデータを取り込み解析してモデルを構築しています。その中でプライバシー侵害の恐れが、政府や企業で問題視される事が、多くなって来た事についてクラウドプライバシーの観点で考察致します。</p>
15:40~16:20	WG講演2 諸角昌宏 AI WG リーダー  <p>「CSAが取り組む生成AIのセキュリティ」 CSA本部では、生成AIについてその使い方を規定するベストプラクティスの開発に取り組み、その経験を次世代の改善に役立てることを目標に取り組むことを宣言しています。この取り組みに対してCSAジャパンとしても、日本市場におけるAI規制やインフラ確立に対してAIの使い方のベストプラクティスを提供できるように活動することが求められています。本講演では、CSA本部が公開した「Security Implications of ChatGPT」(日本語版: ChatGPTのセキュリティへの影響)の内容を解説するとともに、CSAジャパンとしてのAIへの取り組みについて説明します。</p>
16:20~17:10	主催者講演 大和敏彦 日本クラウドセキュリティアライアンス副会長、 株式会社アイティアイ 代表取締役、日本ネットワークセキュリティ協会副会長  <p>「ChatGPTが加速するAI活用」 ChatGPTは、AIの進化を加速し、ホワイトカラーや高賃金労働者の仕事を変えることによって社会に大きな影響を与えつつある。マッキンゼー・アンド・カンパニーは、年間で約600~900兆円の経済的価値をもたらす可能性を指摘している。一方、課題として、信頼性、倫理、著作権などがあり、セキュリティにおいても防御に使われる一方、サイバー攻撃に使われる可能性がある。ChatGPTのインパクトと、今後の可能性と活用について説明する。</p>
17:10~17:30	閉会挨拶 寺尾敏康 日本クラウドセキュリティアライアンス 代表理事

* 講演プログラムは予告なく変更されます。下記日付を確認の上、最新のプログラムを参照してください。
(2023年10月3日)